

※水色と黄色のセルは回答必須。薄緑色セルは任意。申請書の段階から項目3に変更があった場合、直接入力の上書きして下さい。

(一財) 全国地域情報化推進協会 御中

報告日 2019年6月28日
派遣決定番号

地域情報化アドバイザー制度活用報告書 (2日目)

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	成田市	代表者名	小泉 一成
担当者部署	図書館	連絡先電話番号	0476-27-2000
担当者役職		担当者氏名	
住所	286-0017 千葉県成田市赤坂1丁目1番地3		
連絡先E-mail			

1-2. 推薦団体 (「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力)

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	岡本 真
評価	大変よい
上記評価の理由 (どのようなところがよかったか等詳細に)	図書館をサービスを受けられる場所とは捉えず、当事者となって考えいくこと、ワークショップ1回で形だけの答えを出すことではなく、プロセスを共有し、重ねていくことの大切さを伝えてもらったこと。
アドバイザーへの要望事項	それぞれのワークショップの結果をまとめていく技術的支援と、次へつなげていく技術的支援

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

	派遣日	開始時刻	終了時刻	内休憩時間 (分)	活動時間 (分)
3-1. 活動	2019年6月23日	13時00分	16時30分	10	200
3-2. 派遣場所	会場名	成田市立図書館		最寄駅	JR成田駅
	所在地	千葉県成田市赤坂1丁目1番地3			
	最寄駅からの交通手段	バス (5分)			

4. 報告書に関するAPPLICホームページへの掲載許可

掲載許可	<input checked="" type="radio"/> 掲載可
------	--------------------------------------

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性 (職員、一般、企業等) について【自由記述】	人数
	一般、職員	21 人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点 (具体的にご記入下さい)	図書館サービス計画を自治体主導で策定していくのではなく、住民とワークショップを重ねていき、わが街のわが事として作り上げていく流れを作っていくこと。	
支援により目指す成果 (具体的にご記入下さい)	当事者として主体的に関わるワークショップの手法によって、図書館のことを市民が主体的に考えていく雰囲気づくり。	
アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的にご記入下さい)	ファシリテーターとして参加してもらい、利用者イメージから具体的な図書館利用の姿を想像してもらい、それをみんなで共有するワークショップの実践と、また、そのワークショップのまとめ方。	
支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)	これからの図書館のサービスやあり方を、住民が積極的に考えていく雰囲気が生まれたこと。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	ワークショップの成果物としてのまとめの作成と、今後のワークショップの進め方について	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。) アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。	
	別紙	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	②次年度に予算化を図り推進する
事業の最終的な目指す姿	図書館サービス計画の策定	

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真（JPEG）」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

